

人・まち・地球が好きだから「RERA」仲間この指とまれ

きたく RERA(リラ) Times vol. 4

NPO 法人北区リサイクラー活動機構

HP : www.kitakurecycler.or.jp

私たちは、SDGs 目標達成に向け、限りある地球資源を引き継いでいくため、地球環境の負荷を減らすライフスタイルへの転換をめざし、地域で行動していきます。



HPはこちら



『北区版 SDGs ライフ宣言』2022. 3.13 発行

みなさんこんにちは、「RERA (リラ) Times vol. 4」です。早いもので、北区リサイクラー活動機構のセカンドステージが始まって、一年が経とうとしています。おかげさまでセカンドステージの中身もだんだん出来てきました。基本的には、セカンドステージでは、私たちは『北区版SDGs ライフ宣言』を実践していきます。

この宣言の成立は、「コロナ禍で、人々が対面で集うことにまだためらいを覚えていた2021年6月、北区リサイクラー活動機構が主催した第100回明日塾に参加し、そこから『北区版ローカルSDGs宣言』起草の発起人となったメンバーの思いが、約9カ月の時を経て、こうして一つの形に仕上がりました。(あとがきより)」によります。そしてこの「宣言」には、アクションを起こすための多くのアイデアが詰まっています。

- ① 例えば、個人がすぐにできるもの、もしかしてもうやっているかもしれませんが、「ペットボトルは出来るだけ買わないようにしましょう。マイボトルを持ち歩こう」、「停車中のアイドリングを止める」「エコバッグを持ち歩こう」。
- ② 例えば、「シンプルな暮らし」、「必要な量、消費できる量だけ買える仕組みづくり」、「サステナブルな商品開発をしている企業の製品を選ぶ」。
- ③ 例えば、「太陽光発電を普及させる」、「生ごみを資源として活かすコミュニティファームのモデル活動」、「食品ロスをなくすことと子ども食堂や生活支援のネットワークを広げる」。

このような様々なアイデアを実践するために、私たちは共感する仲間を増やします。

この指とまれ です。

いま、2つのテーマがメンバーから上がっています。

「水素エネルギー」と「都市農園・コミュニティファーム」です。

RERA(リラ)Times では随時情報を発信していきます。



SDGsシネマ「明日塾」 杜人(もりびと)

2024, 3, 9(土)

13:30~15:30

北とびあ/ドームホール
主催/NPO法人北区リサイクラー活動機構・後援/東京都北区・協力/北区男女共同参画推進ネットワーク

NPO法人北区リサイクラー活動機構 会員募集中!

- 活動実績/「きたく RERA (リラ) Times」発行、日帰りバス研修実施、北区環境展参加、「SDGsシネマ『明日塾』杜人(もりびと)」上映
- 年会費/正会員(5,000円)、賛助会員(1,000円)
※新規会員になった方には、『北区版SDGs ライフ宣言』を差し上げます。

■アドレスは recycler3196@outlook.jp 皆さまからの提案をいつでもお待ちしております。

北区にコミュニティファームを作りたい その1



古賀由希子さん

今号の特集は、『北区版SDGsライフ宣言』起草の発起人メンバーの一人、古賀由希子さんにお話を伺いました。古賀さんは、畑と土が大好きで、生まれも育ちも北区の団塊ジュニア。現在は、※グリーンリンク生活学校の委員長をしています。

○ まずはじめに、畑と土が大好きになったきっかけを教えてください。

三男一女の子育てをしているときに、子どもたちがのびのびと遊べる自然環境が欲しかったのです。そのころ「食と農」をテーマにしたシンポジウムがあって、農のあるプレーパーク活動やドイツのクラインガルテンに出会いました。

○ その後、北区リサイクラー活動機構が取り組んでいた「群馬県甘楽町との食の循環～学校給食生ごみリサイクル～」と出会ったのですね。

はい。赤羽エコ広場館では、甘楽町の有機野菜を販売していました。私たちは、赤羽エコ広場館のキッチンで「食育ひろば」の活動をするようになりました。週3回、親子で集まってお昼ご飯をみんなで作って食べて、“食農共育”の勉強会を開いたりしていました。

○ この活動が評価されて、2011年に「明日の日本を創る協会の奨励賞」と「第5回よみうり子育て応援団賞」を受賞されます。凄いですね。でも残念なことに赤羽エコ広場館は閉館してしまいます。何か新しいことを始めましたか？

はい。現在は、グリーンリンクの仲間たちと埼玉県見沼に畑を借りて、週末にはみんなで野菜作りに行っています。自然に触れることを大切にしたいです。ここでは、小さい子からおじいちゃんおばあちゃんまで、楽しくおしゃべりをしています。多くの世代の方が集まってきます。

○ “食農共育”の実践ですね。自分たちで育てて、収穫して食べる。農薬を使っていないのではだして畑に入っていける。今ではなかなかできないことですね。見沼まで行かなくてももっと近くにあるといいのでは？

2015年の都政のアンケートでは、農業体験をしたいと思う世代が、30代で70パーセントもありました。子育て世代ですね。最も少ないのが60代以上で46パーセントでした。

残念なことに、北区には農地が無いので、身近に見ることが出来ませんが、是非近くの畑でたくさん子どもたちと一緒に収穫したいですね。

見沼まで行かなくても、いつの日か北区にコミュニティファームを作りたいです。

○ 古賀さんには、まだまだお聞きしたいことが沢山あります。特集「北区にコミュニティファームを作りたい」を随時お伝えします。（浮間には、生産緑地があります。）



ちよつと大きくなると「畑に行こうよ」と言っても「遠いから行きたくないよ」と言っていた子どもたち。「タケノコ掘りに行くよ」と言ったら喜んでついてきます。見て！ でっかいの掘った！

※グリーンリンク生活学校：東京都北区の非営利団体。自然との共生をめざし農山漁村都市国際交流をするNPO法人グリーンネットワーク・ジャパンと共に活動している。